

## 3 学年 グローバル・スタディ(GS)科 学習案内

### ◎ 中学校のグローバル・スタディでは、

- ・外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通じて、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する
- 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。

ことを目標としています。

### ◎ 3年生の外国語（英語）では…

- (1) 聞くこと： はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるようにする。
- (2) 読むこと： 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。
- (3) 話すこと（やり取り）： 社会的な話題に関して聞いたり感じたりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。
- (4) 話すこと（発表）： 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。
- (5) 書くこと： 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。

ことを目標としています。

### ● 1 学期（英語学習の習慣作り）

- ・3年生としての学習態度、学習方法を身につける。（授業のマナー、ルール、持ち物の準備、家庭学習の定着など）
- ・不定詞の特別用法を学習し、名詞的用法や副詞的用法、形容詞的用法と比較し、表現できるようにする。
- ・ワークなどを使って、1・2年の復習をする。・ディベートに向け、英語でのやり取りに慣れる

### ● 2 学期・3 学期（様々な英語の文型に慣れ、基礎応用力を身につける）

- ・関係代名詞や仮定法の使い方を理解し、表現できるようにする。
- ・現在分詞や過去分詞の後置修飾の文を理解し、表現できるようにする。
- ・まとまった英文を聞いたり読んだりして、理解できるようにする。
- ・習得した英語を用いて、自分の気持ちや考えを書いたり話したりできるようにする。
- ・英語でのディベートを通して、やり取りが自信を持ってできるようにする。

## 評価の観点 グローバル・スタディ科では次の3つの観点を評価していきます。

### ①知識・技能

言語材料と言語活動を効果的に関連付け実際のコミュニケーション活動において活用できる技能を身につけているか。

### ②思考力・判断力・表現力

日常的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして互いに事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合っているか。

### ③主体的に学習に取り組む態度

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか。

## ★評価の方法

- 授業準備 →すべての基本は授業です！授業への準備（心構え）が大切です。  
持ち物の準備、チャイム着席、家庭学習（予習・復習）ができていますか。
- 授業態度 →英語は言語です。積極的に挙手をして発表します。他の生徒とコミュニケーションをとります。  
また、先生の説明や英文、他の生徒の発言や発表を聞くときは集中しましょう。
- 表現 →習った英語を使って、間違いを恐れず、自分の考えを表現しましょう。（話す、書く）
- 提出物 →ワークシート、ノート、ファイル、ワークなどを提出しましょう。  
自分の力になる取り組みをしましょう。提出期限を守りましょう。
- テスト →定期テストやパフォーマンステスト等で知識・理解・表現の程度を調べていきます。